

# 特定一般教育訓練明示書

<b>講座の名称</b>	北海道介護支援専門員更新研修(実務経験者)[88時間]																
<b>実施方法</b>	① 通学 ( 昼間・夜間・土日 ) ② 通信 スクーリング(回数 3回)																
<b>指定講座番号</b>	0	1	2	0	2	8	7	-	2	0	1	0	0	1	3	-	8
<b>講座の創設年月日</b> 平成28年6月13日	特定一般教育訓練給付金対象講座の指定期間 令和 8年 3月 31日まで					過去一年の実績 (令和5年度)		入講者数(累積)			237	訓練期間			5ヶ月		
								修了者数			233	総訓練時間			88時間		
<b>1. 教育訓練目標</b>																	
①取得目標とする資格の名称、目標レベル						<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格:介護支援専門員</li> <li>・目標:介護支援専門員として必要な専門知識及び技術の修得を図ることによって専門職としての能力の保持・向上を図る。</li> </ul>											
②①の実施機関名称						一般社団法人北海道総合研究調査会(北海道知事による指定法人)											
③①の受講資格						北海道に介護支援専門員の登録があり、現に所持する介護支援専門員証の有効期間がおおむね1年以内に満了し、かつその有効期間中に介護支援専門員として実務に従事した経験がある者											
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況						職種:介護支援専門員 業界:主に介護支援専門員を必置とする介護保険制度に関わる事業所、及びその関係機関となる介護・福祉・医療業界。											
<b>2. 教育訓練の内容</b>																	
<b>教科 (カリキュラム)</b>		<b>時間</b>					<b>使用教材名</b>										
ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定		8 時間 (eラーニング1時間20分、Zoomによるオンライン6時間40分)					『北海道介護支援専門員更新研修〔前期〕・北海道介護支援専門員専門研修Ⅰ(北海道版テキスト)』 発行 (一社)北海道総合研究調査会										
介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状		3 時間 (eラーニング)															
対人個人援助技術及び地域援助技術		3 時間 (eラーニング)															
ケアマネジメントの実践における倫理		3 時間 (eラーニング)															
生活を支えるための医療との連携及び多職種協働の実践		4 時間 (eラーニング)															
リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する理解		2 時間 (eラーニング)															
ケアマネジメントの演習		28 時間 (eラーニング19時間40分、Zoomによるオンライン8時間20分)															
個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習		3 時間 (eラーニング2時間、Zoomによるオンライン1時間)															
研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り		2 時間 (eラーニング1時間、Zoomによるオンライン1時間)															
介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開		3 時間 (eラーニング)															『北海道介護支援専門員更新研修〔後期〕・北海道介護支援専門員専門研修Ⅱ(北海道版テキスト)』 発行:同上
ケアマネジメントの実践における倫理		2 時間 (eラーニング)															
リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する理解		2 時間 (eラーニング)															
ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表		25 時間 (eラーニング14時間、Zoomによるオンラインまたは集合研修11時間)															
<b>3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)</b>																	
①受講するに当たって必要な実務経験等						北海道に介護支援専門員の登録があり、現に所持する介護支援専門員証の有効期間がおおむね1年以内に満了し、かつその介護支援専門員証の有効期間中に介護支援専門員として実務に従事した経験を有する者											
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準						自身の担当ケースの資料を指定された様式に沿って作成し提出できること											
<b>4. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法</b>																	
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法						提出課題(自己の担当ケース資料)やグループ演習時の討議及び全体発表に対する講師・ファシリテーターからの講評のほか、受講者からの個別の質疑等に応じて行う											
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制						・主任介護支援専門員研修及び主任介護支援専門員更新研修に関する告知 ・職能団体の紹介											
<b>5. その他の事項</b>																	
指定教育訓練実施者名及び代表者名						一般社団法人 北海道総合研究調査会 (代表者名:理事長 五十嵐 智嘉子)											
住所及び連絡先						〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西6丁目1毎日札幌会館 011-222-3669(代表)											
施設名称及び施設長名						一般社団法人 北海道総合研究調査会 (理事長 五十嵐 智嘉子)											
住所及び連絡先						同上 TEL 同上											
苦情受付者		氏名 濱市 淑恵 (医療介護研究部)					事務担当者		氏名 山崎 哲知 (医療介護研究部)								
連絡先		TEL 011-222-7330					連絡先		TEL 011-222-7330(直通)								
特定一般教育訓練経費		特定一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 税込										54,000 円					
支払い方法		① 入学料 (税込額)										0 円					
一括払(銀行振込)		② 受講料 (税込額)										45,000 円					
		(うち、必須教材費)										9,000 円 )					
<b>[ 特記事項 ]</b>																	
令和6年4月1日以降、北海道手数料条例の改定に伴い受講料(教材費含む)は59,000円をお支払いいただく必要がありますが、本給付金の対象となる経費は同3月31日までの金額(54,000円)が適用されます。																	

## 6. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 修了状況

① 前年度内の受講修了者数 233人 (令和5年度)

(2) 受講修了者による講座の評価等(令和4年度修了者を対象に令和5年度に調査)

① 回答者総数		414人
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	354人
	2 非正社員、派遣社員	37人
	3 その他の就業(自営業等)	4人
	4 非就業	12人
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	377人
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	9人
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	2人
④ 受講後の就業形態	1 正社員	360人
	2 非正社員、派遣社員	40人
	3 その他の就業(自営業等)	4人
	4 非就業者	5人
⑤ 受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	91人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	26人
	3 社内外の評価が高まる	32人
	4 早期に転職・再就職できる	35人
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	3人
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	2人
	7 趣味・教養に役立つ	29人
	8 その他の効果	91人
	9 特に効果はない	96人
⑥ 受講中に就業していなかった人のその後の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	1人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	5人
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	3人
	4 就職していない	3人
⑦ 講座の全体評価	1 大変満足	85人
	2 おおむね満足	262人
	3 どちらとも言えない	46人
	4 やや不満	8人
	5 大いに不満	2人

## 7. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1. に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	履修状況及び提出課題(ワークシート・自己の担当ケース資料)、修了評価(修了時の自己評価)
スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	オンライン式で2回(計3日間・17時間:内訳…6時間(1日)+11時間(2日連続))及びオンライン式または集合式のいずれかで1回(2日間・11時間)、併せて3回実施。 7月～2月の中で5コースを設定

## 8. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

[修了の認定基準]e-ラーニングの視聴履歴及びオンライン研修(または集合研修)の参加状況、提出課題の内容を確認し、所定の単位を履修した者に対し修了を認定する。  
[修了認定の時期]受講開始(教材発送)から修了証の交付まで最短で5ヶ月(複数コースがあり、9月～2月にかけて順次修了)